

平成28年度 第3回印西市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成29年3月10日（金）午後2時00分から午後4時30分まで
- 2 開催場所 松山下公園総合体育館 多目的室
- 3 出席者 青木 和浩会長 青柳 豊子委員 早野 敏委員 高梨 峰子委員
本郷 美代委員 秋山 剛委員 岡田 光靖委員
- 4 欠席者 五十嵐 靖宏副会長 三浦 徹委員
- 5 事務局 山崎教育部参事 篠原スポーツ振興課長 白鳥副主幹 村越主査
小島主事
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議 以下のとおり

1. 開 会 進行 事務局

2. あいさつ 青木会長

- ・会議録への署名捺印者の選任
委員の互選により、青木会長と秋山委員に決定。

3. 報告事項

<議長 青木会長>

(1) 平成28年度スポーツ事業の報告について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委 員) 年々、「みるスポーツ」に対する市民の方の意識が高まっているように思う。
この調子で注目度をどんどん高めていくことが、スポーツ振興課に課されていることの一つかと思うので、しっかりと行っていただきたい。

4. 議 題

(1) 平成29年度スポーツ事業の計画について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委 員) 現在、未定となっていますが、アスリート教室の種目の候補は決まっていますか。

(事務局) 調整中ではありますが、印西市に所縁があり、昨年のリオデジャネイロオリンピックにも出場された、澤野大地選手を講師として呼ぶ予定となっております。

(会 長) アスリート教室の日程が平成29年1月から3月になっているが間違いではないでしょうか。

(事務局) 正しくは平成30年1月から3月の予定となります。

(委 員) 今年度は、スマイルマラソンを楽しく観戦させていただきましたが、次回の開催予定はありますか。

- (事務局) スマイルマラソンにつきましては、市制施行20周年の特別事業として、開催した大会となりますので、平成29年度に関しましては、開催予定はございません。しかし、委員の方や市民の方からも、良い意見をいただいておりますので、検討はしていきたいと思っております。
- (委員) 難しい問題とはなるかと思いますが、大会開催等の希望は、どのような形で取り上げているのでしょうか。アンケートを取る等のことはしていないのでしょうか。
- (事務局) スマイルマラソンに関しては、3月末に実行委員会の解散総会を予定しているのですが、その場で継続という意見が委員の方から出た場合は、そこからスタートとなると考えております。
- (委員) 毎年難しいとしても、隔年や5年ごと等で行っていただきたい。
- (事務局) 推進審議会としての意見として、お伺いしたいと思います。
- (委員) 正月に実施していたマラソンは、やっていないのですか。
- (事務局) 平成26年の大会を最後に、主催者の方々も運営が難しいということで廃止となっております。
- (会長) 審議会としては、記念事業の継続を検討していただきたいという意見を出させていただいて、承認ということによろしいでしょうか。

— 承 認 —

(2) 平成29年度スポーツ振興課所管補助金について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

- (会長) 内示額としては、昨年度と同様と考えて良いのでしょうか。
- (事務局) 昨年度と同様になります。
- (会長) 確認ですが、体育協会は20競技団体に均等に割り振るということでしょうか。それとも、団体により異なるのでしょうか。
- (事務局) 体育協会の概要を説明させていただきますと、団体への運営補助金については、会員割及び定額の部分がございまして、その他については、市民大会等を開催した際に、参加者数に応じた運営補助金や、印旛郡市民体育大会や千葉県民大会に出場する際の強化費となっております。実際に団体に支給される額としては、体育協会の予算の内の、運営費の均等割の数万円と、差額としては、会員数に応じた運営補助金、参加者に応じた大会運営費となっております。
- (会長) 関東大会以上となった場合は、別予算から補助するということがよろしかったのでしょうか。
- (事務局) 予算の範囲内及び、財政課との協議とはなりますが、参加費と交通費の2分の1を上限として補助する予定となっております。
- (会長) 今までは、関東大会以上に対しては、出場が決定してから、どうしようかと考えていた部分がルール化されたということで、一歩前進したと個人的には評価しております。
- (委員) ラグビーまつりと六軒相撲へ補助している根拠は何でしょうか。
- (事務局) スポーツ行事補助金交付要綱に基づき、申請があった団体の中から決定し

ております。平成29年度に関しましては、2団体からのみの申請となりましたので、このような結果となっております。昨年は棒高跳びの団体、一昨年はバスケットボールの団体から申請がございましたが、これらの団体におきましては、自主運営をしていくという報告を受けております。

(委員) 市民大会等とは別に、特別に事業を行った場合に交付されるのですか。
(事務局) 詳細につきましては、交付要綱を参照していただければと思いますが、概ねそのようになります。

(会長) 選出根拠に関しては、必ず聞かれる事柄だと思いますので、しっかりとした準備をしておいた方がよろしいかと思えます。

(委員) スポーツ行事補助金の金額の枠は、50万円と決まっているのでしょうか。
(事務局) 補助金全体の枠が50万円と決まっているということはありません。1事業に対しては、対象経費の3分の2以内で、上限が50万円と決まっております。

(委員) 体育協会等に登録してある団体が対象になるのでしょうか。
(事務局) スポーツ行事補助金要綱の中で、登録が必要となるといった要件はございません。また、例年行っている市民大会等は対象となりません。今後、スポーツ振興にあたる事業を始めるために、活用して下さいという趣旨の要綱となります。ただし、補助金は性質上、永遠に続くものではございませんので、将来的には自立していただくことが前提となります。

(委員) 先日、体育協会の理事会で相撲部が休部となるとありましたが、今後はスポーツ行事補助金を受けて活動していくということでしょうか。

(事務局) 体育協会の相撲部と、六軒相撲実行委員会は別の団体になります。

(会長) 補助対象の団体の精査等をしっかりしていただければ問題はないかと委員の方々も考えていると思います。それを踏まえ、承認ということによろしいでしょうか。

— 承 認 —

(3) (仮称) スポーツ広場整備事業について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(会長) 事業は凍結ということになるのでしょうか。

(事務局) 平成29年度に関しましては、設計の見直しをすることになっております。理由といたしましては、当初の基本設計における概算事業費と来年度要望した金額に大きな差があるということがございます。当初と比べ、人件費や材料費の高騰があり、一概に比較はできませんが、見直しの指示を受けております。新年度の会議では、詳細な資料を作成し、審議会の皆様方にもご意見を頂戴したいと考えております。

(委員) 基本的には、計画よりも遅れはあるが工事を行うということによろしいでしょうか。

(事務局) 現状では、来年度に見直しし、平成30年度に着工と考えております。また、フットサル場とペタンクコートを整備するという内容についても、変更はございませんので、数量や、質の部分の見直しが中心となるかと思ひ

ます。

(会 長) 整備概要は変更しないということ、来年度については、質や量の見直しを中心に行うということで、承認でよろしいでしょうか。

— 承 認 —

(4) 印西市教育振興基本計画について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

(会 長) 今回の資料には、前回の委員の方からの意見は反映されているのでしょうか。

(事務局) 可能な限り反映いたしております。

(会 長) 以前の策定委員会の中で、事務局から説明があったように、アンケート項目が多く、本編までたどり着かないという意見がありましたので、その部分はしっかりと見た方が良くと思います。また、リーディング施策の部分で、実現可能かどうかという点において議論となっておりました。更にフォローアップの実施についても、実際にはどのようにやるのかという質問もありました。ただし、量的評価できるものと質的評価になるものが混在しているため、一概に量的評価が出来ないかと思いますが、企業等では必ず数値化しているため、市でも行い、PDCAサイクルについてもどのように行っていくのかという投げかけをいたしました。明確な回答は無かったような気がいたします。本日、議論いただきたい点は、1つ目にリーディング施策の中のスポーツについて、2つ目に分野別計画のスポーツの部分についての2点になります。

(委 員) スポーツの分野ではありませんが、基本計画のP11の点検・評価というところで、D評価が全く無いが、今年度は新聞に掲載されるような事件もあり、評価とは全く関係が無いのかと疑問に感じました。また、オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致とありますが、市としては何の競技を誘致するのか、また準備は進めておこなうのが良いのかを読み取れないためお伺いします。

(会 長) 誘致に関しましては、県や大学等と協議を行い進めている状態となっております。どの競技か等については、誘致合戦になってしまうため、明言は避けさせていただきますが、複数の国から視察に来ております。また、誘致に関する準備等に関しましても、関係各所と連携し進めております。

(事務局) 評価に関しましては、計画していた事業に対する評価となりますので、違和感があるかもしれませんが、実行性に対する評価と認識していただければと思います。誘致の件に関しましては、会長からお話があったとおりとなります。また、教育の方面にも繋げていければと考えております。

(委 員) 目標指標に関しまして、優先順位はどの項目が高いのか、施策の体系のどの項目に当てはまるのかが、わかりにくい。他にも目標数値の算出根拠の記載が無く、あまり変化の無い数字に関しては、わざわざ記載する必要があるのかが疑問に思えます。また、進捗管理表のようなものが無いのであれば、作成した方が良いのではないかと思います。

- (事務局) 目標指標におきましては、全ての取り組みに対して、的確な指標が設定されれば、評価もしやすくなるかと思いますが、現状としては、ぴったりとっていない項目もあることが事実です。今後については、委員の方の意見も十分に理解できますので、出来る限り近づけていければと思います。ただ、行政の取り組みとなるので、優先順位というのは、なかなか付けづらい部分でもありますので、ご理解いただければと思います。
- (会長) 行政なので、優先順位が付けられないという部分は理解できますが、濃淡はあっても良いのかなと思いますので、ご検討いただければと思います。
- (委員) スポーツへの参加者の増加に関してですが、どの場所でどのような種目が行われているか等についての情報が少ないように思えます。
- (事務局) 貴重なご意見として伺わせていただきます。
- (会長) 自由意見シートでも、情報に関しては多くの意見が出ていたかと思いますので、検討していただければと思います。
- (委員) スポーツ指導者の育成について、現状から考えると難しい問題かと思いますが、ぜひ推進していただければと思います。学校教育の立場から意見をさせていただければ、業務が多岐に渡り、昔よりも準備の時間が充分に取れなくなってきているのが現状です。また、専門外の部活動の顧問をする先生も数多くいます。そのため外部に指導を依頼しているところもありますが、そのことが必ずしも先生の負担を減らすことには直結いたしません。学校の活性化や、正しい知識を与えるといったことに関しましては大いにプラスとなるかと思いますが、更なる推進を期待いたします。
- (会長) 実際、印西市ではプログラマー等の取り組みはあるのですか。
- (事務局) 市独自のものの整備はできておりません。
- (委員) 部活動が単独で成り立たないという意見がありましたが、逆説的に捉えると、学校の先生の負担も減らすということも込めて、部活動を廃止してしまうことも有りではないかと思います。現在はクラブチームに入る生徒も増えてきているため、様々な場所に指導者がいる環境を促進することが良いのではと思います。また、市民大会への参加者を増やすとありますが、我々が考えなくてはいけないターゲットは、全くスポーツに触れていない方々だと思います。そのような方がいきなり大会に出場することは考えにくいので、まずは参加する機会を考えることが先決かと思います。また、先ほどの情報に関しての意見について、スポーツ少年団や体育協会に全ての情報が集結していくような体系づくりでも良いのかなと思いました。
- (会長) 他の地域で同様な問題がありましたが、指導者バンクのようなものを作ると良いかなと思います。
- (委員) 市として指導者バンクはあったかと思いますが。
- (事務局) 生涯学習ガイドというものはありますが、必ずしも全てのジャンルが網羅されている訳ではございません。また、スポーツとして、独自に作成しているものもございません。
- (委員) 先日、回覧が回ってきたが、希望する講座の募集期間が既に終了しているものが回ってきたので、広報関係の充実も大事だと思います。

- (事務局) 貴重なご意見として伺わせていただきます。
- (委員) 市には、専門性の高い大学がせつかくあるので、市と連携し、講習等を行い、指導者をもっと育成して行って欲しい。
- (委員) 指導者育成に関して、指導者に対する評価をする機会があると良いと思います。
- (会長) 他にご意見なければ、素案としては、このまま進めていくことと、本日の意見を反映させていただくということで、承認でよろしいでしょうか。

— 承 認 —

- (5) その他
議題無し

- (事務局) 報告事項として、委員の一人である、伊東委員に関しまして、一身上の都合により、2月28日付で辞職されたことをご報告いたします。

5. 閉 会

(事務局)

- ・次回の会議 5月を予定